



こんにちは、岡田よしひでです

2022年4月10日発行
県議会活動報告ニュース
NO.121

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



32 番札所 峰寺の桜 (3月31日、南国市十市)



29 番札所 国分寺の桜 (3月31日、南国市国分)

ケア労働の処遇改善について

政府は、コロナ禍で疲弊した看護・介護・保育職などの賃上げ策を打ち出しました。これは、県や市町村の財政負担、保険料負担にならない形で、国庫負担の増額で行うべきです。県はどう対応するのか、質しました。

子ども・福祉政策部長は、処遇改善については本年2月から9月までは補助金により行われ、それによる賃上げは全額国費が充当されますが、10月以降は、次期の介護保険料や自治体の負担額に影響を及ぼす可能性があります。国と地方の負担の在り方を含め、制度の改善に向けまして、全国知事会

などと連携し取り組んでまいります、と答えました。

介護も保育も職員の配置基準が低いことから、実際の現場では配置基準以上の人を配置せざるを得ないことが、低賃金の構造的な原因になっています。配置基準を高めて、働きやすい環境をつくる必要があります。

子ども・福祉政策部長は、配置基準は施設が守るべき最低限の基準であり、各施設ではケアの質の向上のため介護報酬の加算制度を活用して基準以上の人員を配置し、適切なサービスを提供しています。配置基準につきましては、

現在、国において見直し等の議論が行われており、県としましては、引き続き国の動きを注視してまいります。と答えました。

しっかりと国に政策提言を!!

国の新たな補助事業に関して、県内の公立の保育所、幼稚園などにおける賃上げの状況について聞きました。

教育長は、民間に比べ公立施設の補助申請が低調であったことから、必要な手続きについて随時、市町村に情報提供を行いました。特に会計年度任用職員については、積極的に本事業を活用するように促してまいりました。結果、公立の保育所・幼稚園・認定こども園の31.1%にあたる9市町村41施設において、会計年度任用職員の処遇改善が図られることとなっております。引き続き、職員の処遇改善に向けた市町村の取り組みを支援してまいります。と答えました。

おむすび通信 (121)

4月3日告示、10日投票で香南市議選挙がたかかわられています。日本共産党は現職二人の再選をめざしており、馴田文雄さん、樽本ふさこさんの支援に私も駆けつけました。香南市では県議補欠選挙も同時にたかかわられており、市町村合併後、続いている自民2議選独占を打ち破れるかどうか大きな焦点となっております。私たちは立憲を自主的に支援しています。